

7 高等学校における道徳教育(平成18年度広島県教育資料から抜粋)

道徳教育は、高等学校においても小・中学校同様に学習指導要領の総則にその目標が示されており、「人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行う」となされている。また、社会の変化に対応して主体的に判断し行動するために、様々な体験や思索の機会を通して自らの考えを深めることにより、「自分にふさわしい、しかもよりよい生き方を選ぶ上で必要な、自分自身に固有な選択基準ないし判断基準」をもつことが求められている。

平成16・17年度児童生徒の心に響く道徳教育推進事業の指定校となった県立高等学校では、各教科等において道徳性育成の視点を明確にした授業展開を工夫するとともに、体験活動や地域と連携した取組みを通して道徳性をはぐくんできた。

今後は、これらの取組みを参考にするとともに、すべての高等学校において、それぞれの特色を生かした道徳教育についての意図的・計画的な実践がなされなければならない。そのために、まずは、高等学校における道徳教育の全体計画の作成や各教科等における指導内容を道徳教育の視点から整理し確認する必要がある。その過程において、教職員全員が学校のビジョンや目標、育てたい人間像に対する共通認識をもって日々の教育活動にあたるのが大切である。

○各教科等で育むことのできる道徳的価値の分析(例) (県立福山明王台高等学校)

| 項目 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|------------|---|---------------------|---|------------------------------------|---|---|--|
| | 生命 | 愛 | 日本人 | 自由 | 幸福 | 働く | 人間 |
| 内容 | 生命倫理 | 愛とは何か(恋愛、家族愛、思想家の愛) | 日本人のものの見方・考え方 | 自由とは何か | 進歩し続ける文明との関わり方 | 健全な勤労観の育成 | 人間とは何か、自分とは何か |
| | 脳死 クローン 命への畏敬 臓器移植と物心二元論等 宗教的なものの見方・考え方 | 温かい人間愛 無償の愛 | 精神風土 比較文化 | 相互の人権を尊重する生き方とは | 文明の発達は人間を幸福にしたか 科学者の責任 | 職業と余暇 ボランティア活動 国際貢献 福祉 | 弱き醜さの克服 気高い生き方 |
| 関連価値 | 生命尊重 死生観 畏敬の念 自然愛護 審美 | 思いやり 真理愛 人間愛 | 郷土愛 愛国心 文化の継承 文化の創造 誇り 異文化理解 | 権利と義務 公正公平 社会連帯 公德心 自由 | 真の幸福 平和 国際理解 環境 | 勤労 自己実現 理想社会の実現 奉仕 相互扶助 感謝 | 自我同一性 自己肯定感 個性の伸長 個性の尊重 |
| 学習指導要領との関連 | ア 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う | イ 豊かな心をはぐくむ | ウ 伝統的な文化を継承し、発展させ、さらに個性豊かな文化の創造に努める人間を育成する | エ 民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成する | オ 平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成する | カ 未来を拓く主体性のある日本人を育成する | キ 道徳性を養う |
| 年次 | 科目 | | | | | | |
| 国語 | 国語総合A | | 「芥川」 | 「長月二十日のころ」 | | | |
| | 国語総合B | | 「城の崎にて」 | 「水の東西」 | | 「草の言葉・魚の言葉」 | 「羅生門」 |
| 公民 | 現代社会 | | 社会保障・社会福祉 | | 差別から共生へ | 民主社会の倫理 | 民主社会の倫理 |
| 理科 | 理科総合B | | 「遺伝の法則」 | | | 「生物と環境とのかわり」 | 「遺伝の法則」 |
| 保健体育 | 保健 | | 応急手当 | | 感染症の予防 | | 自己実現 |
| 芸術 | 音楽Ⅰ | | | 木彫(ハガキ箱) | | | |
| | 美術Ⅰ | | | 古典作品の臨書 | | | |
| | 書道Ⅰ | | | | | | |
| 英語 | 英語Ⅰ | | *Totto-chan in Tanzania: "In Turn, in Turn!" - タンザニアの子供達の強さ・優しさ | | *A Class Divided - 人種差別を考える - | *Dolphins' Power to Heal - 自然との共生を考える - *Who Are the Best Ecologists? - 環境問題についてディスカッション - | *The World Is Waiting for You - 日本人学生の海外ボランティア体験を通して - |
| | 家庭 | 家庭基礎 | 人生と家族・福祉 生活と健康 消費生活と環境 | 人生と家族・福祉 生活と健康 | 人生と家族・福祉 生活と健康 消費生活と環境 | 人生と家族・福祉 生活と健康 消費生活と環境 | 人生と家族・福祉 生活と健康 |
| 情報 | 情報A | | | | プライバシーへの配慮 著作権について考える 電子メディアを通じたコミュニケーション | | |
| 国語 | 現代文 | | 「人間の中にあるヒト」 | | | | |
| | 古典 | | 「梁上の君子」 | | | | |
| 歴史 | 世界史B | | 死者の書・仏教 | キリスト教・儒教 | 近代市民革命 | ナイティンゲール | ガンディー・キング牧師 |

○高等学校における道徳教育全体計画（例）

（県立松永高等学校）

道徳教育全体計画

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
教育関係諸法規
学習指導要領
県教育委員会の教育目標
時代や社会の要請

学校の教育目標
文化・教育活動の拠点校として、地域の人材を育て、地域から期待される学校づくりを進める。

・生徒の実態
・教職員の願い
・保護者の願い
・地域社会の実態

校訓
真・善・美

道徳教育の目標
1 人間尊重の精神と生命の尊さを理解し生命に対する畏敬の念を培う。
2 奉仕の精神をもって地域社会に貢献する態度を養う。
3 道徳的行為が自発的・自立的に生起するような道徳性を養う。

各教科等
・各教科の内容を習得させる。
・人間としての在り方生き方を主体的に探究し、豊かな自己形成ができるよう適切な指導を行う。

クラス・学校の環境の充実整備や生活全般の指導
・美化活動や奉仕活動を通して、集団の中で自分の役割を自覚しその責任を果たそうとする態度を育てる。
・教室内の整理整頓心がかけ、豊かな感受性を育てる。
・校内の自然環境を整える活動を通して自然を尊び愛する心を育てる。

実践目標
1 挨拶から始めよう
2 きれいな学校みんながつくる
3 学びがいのある学校づくり

国語
国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心豊かなにする。

地理歴史
歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。

家庭・地域社会との連携
・「松高新聞」や「学年通信」で、学校の教育活動の様子を伝える。

| 各年次の重点目標 | | |
|---|---|---|
| 1年次 | 2年次 | 3年次 |
| 1 望ましい生活習慣を身につけ、ものごと積極的に取り組む態度を養う。 2 お互いの人格を尊重し、思いやりや規範意識を育てる。 | 1 多様な体験的活動を通して、自己を尊重し、共に生きていこうとする態度を育てる。 2 自ら学び、考え、責任ある行動がとれるように育てる。 | 1 社会の一員としてよりよい社会の実現に尽くせるよう、規範意識や公德心を育てる。 2 よき社会人・地域の人材となるための基礎（知・徳・体）を育てる。 |

公民
現代の社会について公正な判断力を養い、人間としての在り方生き方についての自覚を育てる。

数学
数学的活動を通して創造性の基礎を培い、数学的な見方や考え方の良さを認識し、積極的に活用する態度を育てる。

生徒指導体制の確立
・基本的な生活習慣を確立する指導を継続的に行う。
・朝の昇降口指導の中で生徒に積極的に声をかける。
・社会のルールを守り、マナーを大切にする心を養う。

特別活動における道徳教育の指導

HR活動
HR集団において望ましい人間関係を確立し、集団の一員としてのあり方を考え、当面する諸問題に主体的に取り組む態度を育てる。

生徒会活動
自発的・自治的な活動を通して自主性や社会性を身につけ、進んで学校生活の充実や改善向上を図ろうとする態度を養う。

学校行事
全校又は各年次を単位とした体験的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主的実践的な態度を育てる。

産業社会と人間
自己の生き方の探究活動、自己啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や生きがいのある人生を築くことを目指して、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を育てる。

理科
自然を愛し、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。

保健体育
心身ともに健全な人間を育成し、仲間と協力し、明るく活力ある生活を営む態度を育てる。

芸術
芸術の幅広い活動を通して、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

心の書きとめシートの活用
行事、体験活動に参加した自分の気持ち、感想を文章にあらわしてみる。またそれをひとつにまとめておく。

総合的な学習の時間

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。

外国語
外国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

家庭
家族・家庭と社会とのかかわりを理解し、協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

商業
ビジネスに対する望ましい心構えを身につけさせ、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。

情報
情報に関する基礎的な知識と技能を習得させ、情報モラルについても正しい認識を育てる。